

新庁舎建設基本構想の骨子(案)に

ご意見をお寄せください

● 問い合わせ 政策課 (本庁舎3階) ☎34-3274 図34-3201

松本市役所庁舎の老朽化、利便性や防災等で抱える問題を改善するため、新庁舎の建設計画を推進していきます。新庁舎の理念や基本的な考え方をまとめた「新庁舎建設基本構想」の骨子(案)に対し、ご意見を募集します。

現在の市役所本庁舎は昭和34年の建設から59年、東庁舎は49年が経過し、老朽化が進んでいる上、事務室の狭さ、非効率な配置、危機管理拠点としての機能不足など、利便性や防災にさまざまな問題があります。そのため、将来世代のためのハード整備と位置付け、新庁舎の建設計画を推

進していくこととしました。新庁舎建設に向けて、昨年9月、現在地を新庁舎の建設場所とするについて市議会にご了承いただきました。その後、昨年10月には、有識者や公募市民等で構成する「新庁舎建設市民懇話会」を設置し、新庁舎のあり方やコンセプトについて議論を始めるとともに、市民ワークショップ等を数回にわたって開催し、これまでたくさんの方から

多様なご意見やご提案をお聴きしてきました。今回、それらの貴重な声を元に、新庁舎の理念や基本的な考え方をまとめた「新庁舎建設基本構想」の骨子(案)をまとめました。この骨子(案)に対し、広く市民の皆さんからご意見を伺い、基本構想に反映させるため、意見募集と市民説明会を行います。

ぜひたくさんのご意見をお寄せください。



1 新庁舎建設に

臨む基本姿勢

○量より質。ハコ(ハード)

ただではなく、知恵(ソフト)を出して問題の解決に当たる。○市民感覚、民間感覚、将来

新庁舎建設基本構想の骨子(案)の内容

世代の視点で考え、未来志向型の庁舎を目指す。

○市役所庁舎を将来のまちづくりの核の一つと捉え、創る過程を市民と共有する。

2 新庁舎の理念

時代の先を読み、変化し続ける力を備えた、「ひと」や「まち」を結ぶ庁舎

3 新庁舎建設の

基本的な考え方

【分かりやすさ・使いやすさを実感できる庁舎】

質の高い行政サービスが提供される庁舎、ユニバーサルデザインを実現した庁舎、市民サービス向上につながる執務環境が整えられた庁舎など

【松本城と共に時を刻む庁舎】

松本城と調和する庁舎、地域の発展に貢献する庁舎、ゆとりとやすらぎを感じる敷地空間づくりなど

【コミュニケーションが

芽生える庁舎】

交流・対話が生まれる庁舎、市民と行政の共創・協働が育まれる庁舎、市民とともに議会権能が十分に発揮される庁

舎など

【コンパクト+

ネットワーク型の庁舎】市民に身近なサービス拠点を生かし支える庁舎、組織体制を見直し、庁舎機能を適切に配置した庁舎、職員間・組織間のつながりが深まり、小さくても役に立つ庁舎

【新たな時代のオフィス像を

提案する庁舎】働き方改革の姿を示す庁舎、健康経営を実践し社会にはたらきかける庁舎、最新の技術を活用できる庁舎など

【リスクに備える庁舎】

災害対応力が発揮できる庁舎、個人情報や行政情報を守る情報セキュリティが確保された庁舎、高い防犯性が確保された庁舎など

【世代を超えて

受け継がれていく庁舎】人口減少社会を見据えた庁舎、フレキシブルな(柔軟に)応用がきく)庁舎、サステナブルな(持続可能性の高い)庁舎、長い目で見てお財布にやさしい庁舎、エネルギーの利用効率を高めるなど環境にやさしい庁舎など

